

添付資料-3

2015年度CeFILインターンシップ 企業アンケート <ご意見・ご感想>

2015.10.26 CeFIL

※個人や企業が特定される部分、業務内容に関わる部分についてはCeFILで一部修正しています。

	ご意見・ご感想	対応
1	<p>毎年、非常に優秀な学生の方に来ていただいており、感謝しております。実業務で実現したいことへの対応するためのリソースとしても予定するようになりました。企業側の問題でもありますが、プログラミングだけではなく、要件開発やテスト設計、品質管理など幅広く経験できるようにする必要があると思っています。それによって、より一層、幅広い視点が持てるのではないかと期待しています。今後もぜひ継続していただければと思います。</p>	
2	<p>【インターンシップについて】 採用・PR活動等により、弊社独自のインターンシップ受入に向けた対応が遅れたものの、受入時期としては夏季休暇中が望ましいと考える。</p> <p>【選考時期の繰下げについて】 例年同様2～3月等選考解禁以前に内々定を出している一部企業がある中で、繰下げにより内々定取得時期がこれまで以上に遅くなるため、早期に内々定した企業に就職先を決定する学生もいることから、繰下げによる内々定取得時期の差が大きくなることは非常に不利であったと考える。</p> <p>また、弊社内定者にヒアリングしたところ、前年夏季のインターンシップから就活が始まっており、今までより期間が長くなったことに加え、企業により選考時期が異なり就活に多くの時間を取られたとの意見が聞かれた。</p> <p>17年卒については、選考解禁日の早期化、または解禁日の厳守を望みたい。</p>	
3	<p>2016年卒向け採用活動と平行しての、夏季インターンシップの企画・運営は企業側には非常に大変でした。一番学生の方々が時間の余裕のある夏季に十分な回数や人数のインターンシップを開催できないことが残念です。</p>	
4	<p>学生の成果報告で、業務遂行における感想としてほとんどの方が、学生と社会人の違いなどを述べられます。大学を社会人移行へ向けての事前教育の場と考え、これらのギャップを出来るだけ少なくなるような仕組みを取り入れ、スムーズな社会人への移行が可能となるようにすると良いのではないかと。</p>	
5	<p>今年度は9月であったが、7月～8月に受入れできるよう、弊社の準備が課題と認識した。</p>	